

第1号議案

平成29年度事業計画

(29年4月1日～平成30年3月31日)

今年度、我が国経済は緩やかに持ち直す見込みです。米国トランプ政権が貿易に対して保護主義を鮮明にしていることもあり、円安基調が続いても輸出の伸びは限定的と見られます。インバウンド需要は頭打ちですが宿泊施設増加など受け入れ環境の整備が進み今後も高水準を維持しそうです。個人消費低迷の背景には可処分所得の伸び悩みがあります。特に将来不安が強い若年層で消費性向の低下が鮮明になっています。人手不足を背景とする雇用環境の改善は続きますが、個人消費は緩やかな増加にとどまる見通しです。レジャー産業間の競争激化も進んでおり、乗馬業界を取り巻く環境はいまだ厳しい状況です。JRAでは地域社会への貢献として従来から「馬」を利活用した地域イベント等への協力を行っており、それを受け全乗協においても大衆と馬とのふれあいタイム推進事業等を進めているところです。全乗協の助成金については大幅な増額は見込めないことから、我々としては行政機関や教育機関あるいは地元の団体からの補助金・助成金等を積極的に確保する努力が求められます。この難局を乗り切るため、これまで同様、乗馬普及に努め底辺拡大をはかるため「乗馬教室」や「馬に親しむ日」等の開催という乗馬倶楽部としての基本を徹底していくことが重要です。

28年度は兵庫地区総会で加盟乗馬団体に有益な情報交換会を実施しました。今年も継続していきたく、5月頃に予定しております決算定時総会時にテーマを決め情報交換・共有・発信ができればと考えています。

本年度も乗馬普及大会“キャロットカップ”を開催する予定です。前年同様、兵庫県馬連主催の新春大会と共催した（平成30年1月13日～14日）形で検討しています。要望があれば、騎乗者資格審査会（乗馬技能認定会）も併せて実施します。障害、馬場ともに3級までは各クラブで実施してください。

昨年は乗馬指導者資格更新講習会を8月23日に行いましたが、29年度についても夏に予定しております。乗馬指導者巡回指導については今後もチャンスがあれば積極的に参加していきます。

今年も兵庫県教育委員会の“トライやるウィーク”事業に協力して各クラブで生徒を受け入れ、指導し乗馬の普及に努めます。